

プロトコール名 キイトルーダ[®]+nab-PTX/CBDCA併用療法

- 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法
 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ペムブロリズマブ(キイトルーダ)	200mg/body	div	30分	d1
2	アブラキサン・nab-PTX	100mg/m ²	div	30分	d1,8,15
3	カルボプラチン・CBDCA	AUC=6	div	1時間	d1

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	21日
総コース数	4回(終了後はペムブロリズマブ単独)
コース間での休薬の規定	・好中球<1000/mm ³ または血小板<7.5万/mm ³ ・末梢性感覚ニューロパチーGrade2

減量規定・中止基準	・減量規定 nab-PTX(1段階減量:80mg/m ² 、2段階減量:60mg/m ²)、CBDCA 好中球500未満、FN Grade3以上、PLT2.5万未満、末梢神経ニューロパチー Grade3以上(またはGrade2で医師が治療に支障がある場合も含む) 非血液Grade3(脱毛は除く) ・中止基準 nab-PTX、CBDCA 忍容できない副作用が出現した場合 キイトルーダ [®] 重篤なirAE出現時(間質性肺炎等)
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	キイトルーダ [®] →nab-PTX→CBDCA
プレメディケーション・ポストメディケーション	<プレメディケーション> day1:パロノセトロン0.75mg+デキサメタゾン注4.95mg+イメンド (d1-d3) day2以降のデキサメタゾンは省略 day8,15:デキサメタゾン注6.6mg

※CTCAE v4.0

患者条件(初回条件)

- ・PS 0~2
- ・扁平上皮癌
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・PS 3以上
- ・本剤又はパクリタキセル、アルブミンに対し重篤な過敏症の既往歴のある患者、他の白金製剤を含む薬剤に対し、重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・重篤な骨髄抑制のある患者

実施上の注意点

・Ccrに応じてCBDCA投与量は決定

慎重投与

・PS2以上

・75歳以上の高齢者

・自己免疫疾患のある患者

・骨髄抑制のある患者

・間質性肺炎、肺繊維症、又はこれらの疾患の既往歴のある患者

・肝障害、腎障害のある患者

・遺伝子変異陽性や、1st患者ではなくても良い(19.1.9時点)

その他(特記事項)

キイトルーダ

・本剤投与時にはインラインフィルターを**使用する**ため、アブラキサン投与時には注意が必要。

アブラキサン

・本剤投与時にはインラインフィルターは**使用不可**のため注意が必要。

・患者に血液製剤の同意書取得が必要。

・使用する毎に、血液伝票が必要。